

特別展

きのくにの なこ浪華

湯浅ゆかりの文人の書画

むかし、醤油のまち湯浅は、
文学やアートが盛んだった!?
知られざる、その実態に迫る!



花鳥図 池永柳潭筆
深専寺蔵

令和5(2023)年

4/29(土) → 6/18(日)

9時30分～17時(入館は16時30分まで)

【会場】和歌山県立博物館1階 企画展示室

※常設展「きのくにのあゆみ一人々の生活と文化一」と併催します。

■休館日 月曜日

■入館料 一般520円(420円)・大学生310円(250円)

※()内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、および県内の
学校に在学中の外国人留学生は無料

【主催】和歌山県立博物館

【後援】湯浅町、湯浅町教育委員会

関連イベント

■担当学芸員による博物館講座

「漢詩人・菊池海莊をめぐる文雅の“ワ”」

5月21日(日)13時30分～15時

会場:和歌山県立近代美術館(博物館となり)2階ホール

定員:先着100名

■現地見学会「湯浅のまちを歩く」申込締め切り:5月17日(水)

6月4日(日)13時30分～15時(現地集合・現地解散)

定員:先着30名

案内人:和歌山県立博物館学芸員、湯浅町教育委員会歴史文化財係

いずれも参加費無料、事前申込制。(5月2日(火)9時30分より電話
(073-436-8670)にて申し込みを受け付けます。)

※新型コロナウイルス感染症流行の状況により、中止となる場合が
あります。必要に応じて、事前にご確認下さい。

■ミュージアムトーク

5月6日(土)、6月17日(土)13時30分から1時間程度

当日受付カウンターでお申し込みください。



特別展

きのくにの小浪華

—湯浅ゆかりの文人の書画—

江戸時代、湯浅は、紀伊国内有数の商業都市として栄えました。19世紀になり、日本の各地で豪商や豪農らが文雅を嗜み、江戸、京、大阪の三都の文人たちとの行き来も盛んになると、紀伊国では、湯浅がその中心の1つとなりました。商都として繁栄し、裕福な商人らが文芸に親しみ、交流した江戸時代の湯浅は、浪華(大阪)を思わせるような地方都市であり、「きのくにの小浪華」と呼ぶのにふさわしい展開をみせます。

この展覧会では、湯浅での文芸活動の足跡をたどります。きのくにを代表する漢詩人である菊池海荘(1799～1881)をはじめ、湯浅にゆかりある文人たちがのこした書画を中心に展示します。

江戸の画家が
栖霞に来て、描いた
肖像画



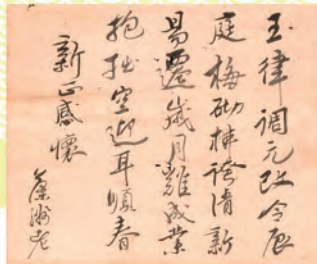
古碧吟社小稿 松原永年編
湯浅町教育委員会蔵



垣内亨斎像 横田汝生筆
菊池海荘蔵 安楽寺蔵

湯浅の
漢詩人サークル
古碧吟社による
詩集

普段は
お寺の和尚さんで、
時々詩人。

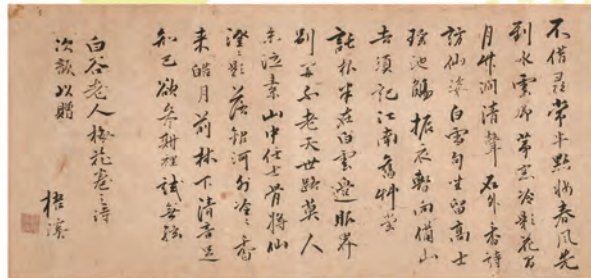


詩書貼交掛幅(部分)
石田藻川筆 極楽寺蔵

湯浅で活動した
画家たちが手がけた、
多彩な作品



普賢菩薩像 馬上清江筆 個人蔵



七律二詩書 妻木梧溪筆 本勝寺蔵

湯浅町で話題の新スポット!!

〈問合せ先〉湯浅町役場 0737-63-2525(代)

湯浅米醬(湯浅駅旧駅舎)

昭和2年(1927)の開業当初の姿に改修整備され、飲食・物販施設として生まれ変わります!

【オープン予定】5月14日(日)
【住所】有田郡湯浅町湯浅1075-2
【営業時間】10:00～17:00
(定休日:月曜日)



旧栖霞家住宅(フジイチ)



伝建地区内の元醤油醸造家の建物を改修。醤油醸造や伝建地区について紹介しています。

【住所】有田郡湯浅町湯浅557
【入館料】無料
【開館時間】9:30～16:30
(水曜日休館、祝日の場合は翌日)



花鳥図 池永柳潭筆 深専寺蔵



山水図襖 平林無方筆 福蔵寺蔵

周辺博物館・美術館の展覧会

- 和歌山県立近代美術館 TEL 073(436)8690
コレクション展2023-春 特集:新収蔵 奈良原一高の写真
2月11日(土)～5月7日(日)
企画展「石ノウエニ描ク 石版画と作り手たちの物語」
4月22日(土)～7月2日(日)
- 和歌山県立風土記の丘 TEL 073(471)6123
春期企画展「岩橋千塚古墳群のはじまり～花山地区の古墳～」
3月18日(土)～6月18日(日)
- 和歌山市立博物館 TEL 073(423)0003
企画展「新収蔵品展」3月11日(土)～5月14日(日)



湯浅町教育委員会蔵
菊池海荘像 九鬼虚白作



湯浅の文化人は、
菊池海荘だけじゃない?!

和歌山県立博物館
https://hakubutu.wakayama.jp
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-436-6643
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
— 和歌山城・南側 —